

生物劣化研究会（講演会）

主 催：一般社団法人日本木材学会生物劣化研究会

後 援：公益社団法人日本木材保存協会

日 時：3月15日(土) 12:45～15:30

場 所：愛媛大学城北キャンパス共通教育棟 4F 講 41（第8会場）

テーマ：「これからの木橋の耐久性を考える」

内 容： 1990年代、「ヨーロッパで50年以上の耐久性」のふれこみのボンゴシ材の木橋が各地で造られましたが、愛媛県の築10年の木橋が腐朽により落橋しました。このショッキングなできごとに、日本中の木材関係者は耳を疑いましたが、その後類似の事例が頻発することとなりました。振り返ると、この事故を契機に日本の木橋の周辺は大きく変わったように思われます。

生物劣化研究会では、愛媛での学会というこの機会に、ボンゴシ橋落橋以降の木橋の耐久性に関する変化をパネラーの方々に示していただき、これからの木橋のあるべき姿、耐久設計などについて議論したいと考えています。

12:45～ 愛媛県内で約10年間実施した木橋調査

(独) 森林総合研究所 加藤 英雄 氏

13:15～ ボンゴシ等高耐久材の耐久性評価と木橋の腐朽調査事例

(株) ザイエンス 谷川 充 氏

13:45～ 木橋ウォッチャーが見た、その後の日本の木橋

福岡大学 渡辺 浩 氏

14:15～ 地域材活用型木橋の試み

秋田県立大 佐々木貴信 氏

15:15～ ディスカッション「これからの日本の木橋の耐久性を考える」

コーディネータ 奈良県森林技術センター 酒井 温子 氏

15:30 閉 会

参加申込：ご氏名、ご所属、連絡先を、下記までメールまたは FAX にてご連絡ください。

栗崎 宏（富山県農林水産総合技術センター木材研究所）

hiroshi.kurisaki@pref.toyama.lg.jp

TEL：0766-56-2917、FAX：0766-56-3405

備 考：配布資料の印刷部数把握のため、事前に参加申し込みをお願いいたします。